



5月26日に体育祭が終了しました。

学年ごとの開催となりましたが、どの学年も、学年のリーダーが的確な指示を出し、見事に競技を進行させました。また、競技に出場したみなさんも、互いに声を掛け合い、励まし合っていました。ともに頑張ろうというあたたかな雰囲気がグラウンドにありました。

順位は出ましたが、それは実力であるとともに時の運でもあります。よい順位であれば、素直に喜べばよいし、残念な順位であれば、それを悔しがることは必要でしょう。

けれども、より重要なことは、頑張ることで心の満足が得られたかどうかということです。体育祭の目的は、仲間とのつながりをつくることでした。そのためには、精一杯の取組が必要でした。それができれば、順位が気になる一方で、どこかに心の満足があるはずです。

また、たとえ順位がよかった学級でも、取組の中でうまくいかなかったことがあったはずです。うまくいかないことには必ず原因があります。その原因を、学級全員で共有できているかどうか。これも重要です。

これらは、これからの学級の成長に大きくつながります。さらなる学級の成長をめざしましょう。

さて、今日から六月です。体育祭の次に集中すべき事柄は、授業と中間テスト、そして部活動です。

6/10には中間テストがあります。テストは **all or nothing** です。途中までわかっているも、最後までわからなければ0点になります。記述式であれば、部分点がもらえますが、そうした設問は多くありません。

つまり、確実な理解が必要なのです。なんとなくわかっているという状態が一番残念です。あいまいさを排除し、確実な理解をめざした勉強をしてください。

授業を最大限に活用することもよい方法です。仲間と考え、理解する。理解したことを仲間に説明してみる。それがうまくいけば、確実な理解ができている証拠です。学校には先生がいて、仲間がいます。わからないところを聞くことができます。親切に教えてくれる先生や仲間がいます。「受験勉強は団体戦」と言いますが、テスト勉強も同じです。

また、知識を得る過程には、「考える」という作業が伴います。この作業の中で、みなさんには「考える力」が身に付きます。これからの時代に最も必要なことはこの「考える力」です。いろいろな方法を駆使して、全員が得点アップすることを期待します。

そして、中間テストが終われば、中体連の大会が始まります。合唱部はNコン、パソコン部はロボコン、パソコン検定があります。絵画部では校内展覧会が計画されています。クラブチームで活動するみなさんにもそれぞれの大会があるはずです。

最後まであきらめないこと、最後まであきらめないための「意地」をつくること、そのために、限られた時間ですが、練習に全力を尽くすこと。結果の出る様々な事柄は、すでに始まっています。普段からそれらを意識して生活する、そんな生活をみなさんに期待します。

最後に、二つ気になっていることとお話しします。

一つめは挨拶です。校内には元気な挨拶の音が響いています。それはとてもよいことです。けれども、よく見ると、自分から挨拶をしている人は決して多くありません。先生の挨拶に応えている人が多いのです。また、中学生は地域での挨拶が少ないと言われています。

挨拶は自分からするものであって、挨拶をされて返すのは「返事」だという人もいます。

自分から、仲間や先生、学校のお客様、地域の方々に挨拶ができるとよいと思います。

もう一つは、昼休みの過ごし方です。体育祭が終わり、グラウンドで遊ぶ生徒のみなさんがぐっと少なくなりました。せっかくの広いグラウンドです。ボールなどの準備もできています。みなさんには、昼休みにもっと体を動かしてほしいと思います。

体を動かすことで、体が鍛えられます。体を動かすことは、それだけでなく、ストレスに強い体、不安に耐えることができる体をつくります。体をよく鍛えれば、心の病気にも強くなります。だから、「よく遊び、よく学べ」という諺があります。

ぜひ今日から、多くの方々にグラウンドへ出て、思い切り遊んでほしいと思います。